

私学協会理事長賞

エメラルドグリーンに 魅せられて

常葉大学附属常葉中学校

にしがや
二年 西ヶ谷 さん

大井川に沿って緑豊かな道を進むと、見えてくる巨大な施設、それは長島ダムです。上から見ると、まるで絵の具を溶かしたような、エメラルドグリーンの湖面が広がります。ダム湖の前に私は最初、素直に美しいとは思いませんでした。この下に故郷を失った人たちの生活があったのだろう、もっと豊かな自然があったのでは、と想像すると、湖面の色がまるでそれらを隠しているように思えたのです。

この巨大なコンクリート施設は必要だったのでしょうか。ダムができるまでの歴史を知ると、自然の脅威と向き合った人々の暮らしが見えてきました。長島ダムの周辺地域は全国的にも降水量が多く、かつて大雨が降ると洪水が発生し、水に浸かってしまう家や建物が多く、たくさんの被害もたらされていました。安全な暮らしができるように大雨の際に水を貯めることのできるダム湖。ダムがあるおかげで、大雨が降っても、川に水が溢れることを防ぎ、被害を少なくすることができます。役割はそれだけではありません。雨が降らない季節にはダム湖から水を流し生き物を守る、水道水への供給、かんがい用水、そして工業用水。安全で豊かな暮らしのために安定した水の供給をする様々な役割を果たしていました。江戸時代に、「箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ

大井川」と歌われた大井川の水量が人工的に管理されているなんて、とても不思議な気持ちになりました。

私が出会ったのはダム施設だけではありません。台風の前に私がインスタント食品や水を備蓄している時に、夜も眠らずスクリーンで河川の様子を見て、雨の量、河川の情報を集め、ダムからの放流を判断する人。常に川を見守り、放流の際には下流まで危険を知らせに行く人たち。また、永続的にダム湖が使えるようにするために、上流からの土砂や流木を撤去する人たち、保全管理をする人たちです。私たちの安全な暮らしのその先には、美しい自然と人々の命を守る、そして百年後もダムが使えるようにと働く大人たちの存在がありました。

それに比べて私たちの生活はどうでしょうか。夏になると河原でバーベキューやキャンプ、花火を楽しむ人がたくさんいます。私たちは川を、自然を大切にできているでしょうか。私はこのことを友達にも知らせたくて、掲示物を作って、夏休み明けに学校で発表をさせてもらいました。一人でも多くの人にダム湖そしてダム湖に関わる人たちについて知って欲しいと思ったのです。

ダム湖の必要性に気づいた私に衝撃的なニュースが飛び込んできました。それはテレビのニュースで流れる、リビアのダムが決壊した映像でした。街中を土砂が埋め

尽くし壊滅的な被害を受けていました。この悲しい災害は、単に暴風雨による降水量が多かっただけでなく、戦争や政治的分裂が続くダムの管理や修復がなされていなかったことが要因の一つだということを知りました。家や家族を失った人たちの様子が映し出されると悲しみと同時に私は悔しさが込み上げてきました。

私たちが子どもができることは何でしょうか。私は「正しい知識を身につけること」だと思いました。私にダム湖の建設はできないけれど、自分の住む地域について調べることができません。自分たちの暮らしに危険なことがあったら、声を上げ、その小さな声が集まれば、私たちの安全な未来、美しい自然を守り共存していく未来を作り出すことができると思います。

エメラルドグリーンに輝きながら穏やかに私たちの暮らしを守ってくれるダム湖のように、私も様々なことに興味を持って、知識を深く蓄積したいです。そして私の大切な人や自然を守っていける大人になりたいです。